

オオバン

Fulica atra atra Linnaeus

ツル目
GRUIFORMES
クイナ科
Rallidae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由 西日本では繁殖地は局地的で、大分は繁殖南限である。県内では繁殖地が近接した2か所だけであり、繁殖個体数は数十羽である。

県内分布 大分市の埋立地で繁殖。県内全域の湿地に飛来する冬鳥。

分布域 北海道では夏鳥。本州、九州(福岡、大分)では局地的に繁殖。本州中西部、四国、九州、琉球諸島で冬鳥。中国北部、ウスリー、サハリン、シベリアで繁殖。朝鮮半島南部、中国南部以南で越冬。

生息環境 平地から低山の湖沼や河川、蓮田に生息し、アシやガマの根元に営巣する。雑食性で、開けた水面に出て、小魚、昆虫や水草の根や葉を食べる。

現 状 大分市の2か所の埋立地の人工池で、毎年数十羽が繁殖している。池が、人為により、少しずつ小さくなっている。

タマシギ

Rostratula benghalensis benghalensis
(Linnaeus)

チドリ目
CHARADRIIFORMES
タマシギ科
Rostratulidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 土地改良により泥田が減少し、農業形態の変化により生息環境が悪化して、個体数が減少している。

県内分布 全域の水田、蓮田、休耕地や湿生草原、河川に生息する留鳥。

分布域 本州中西部、四国、九州、琉球諸島で留鳥。中国北部で夏鳥。中国南部以南の東南アジア全域で留鳥

生息環境 水田や草丈の短い湿生草原に生息し、昆虫やミミズなどの小動物や、イネなどの草本の種子を食べる。繁殖期の夕方にはよく鳴くが、姿を見ることは少ない。水を張った休耕地では繁殖するが、乾燥していると利用しない。

現 状 かつては、水田に普通に見られた鳥であるが、近年は、観察頻度が減少している。

コチドリ

Charadrius dubius curonicus
Gmelin

チドリ目
CHARADRIIFORMES
チドリ科
Charadriidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 海岸や河川が環境が変化し、繁殖に使う海岸や河川の砂礫地が減少しているため、繁殖数が減少している。

県内分布 全域の海岸や河川で繁殖、一部は越冬。

分布域 北海道、本州、四国、九州で繁殖。本州、四国、九州、琉球諸島では越冬。朝鮮半島、中国、シベリアで繁殖。中国南部、東南アジアで越冬。

生息環境 海岸、砂浜、河原、裸地の草の少ない地上に営巣する。おもに湿地で無脊椎動物や草本の種子を食べる。

現 状 営巣できる環境が少なくなって、繁殖期の観察頻度が少なくなっている。